

和歌山縣報

第三百七十號

大正五年六月二日
金曜日

○告示

○和歌山縣告示第一六〇號

日高郡志賀村大字志賀三千三百二十二番地

開業産婆

谷トメ

右今般轉住ノ旨ヲ以テ願出ニ依リ本日左ノ通和歌山縣産婆名簿ヲ訂正ス
大正五年六月二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

日高郡白崎村大字大引七百九番地

谷トメ

○和歌山縣告示第一六一號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣産婆名簿ニ登録ス

大正五年六月二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

番 號

住

所

身分

氏 名

生 年 月

第九二三號

和歌山市小松原通四丁目一番地

平民

赤井かめの

明治二十二年四月生

第九二四號

全上

岡見 エキ

明治二十七年一月生

○和歌山縣告示第一六二號

京都府ヨリ左記ノ通獸疫發生ノ旨通知アリタリ

大正五年六月二日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

種類

嵐種

性

病名

斃死月日

診斷方法

發

生

地

犬

洋種

牡

狂犬病

五月七日

接種

京都府京都市針ヶ小路通大宮東

○和歌山縣告示第一六三號

左記ノ者ニ對シ小學校教員無試驗檢定ニ依リ夫々頭書ノ教員免許狀ヲ下付セリ

大正五年六月二日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

一、小學校本科正教員

和歌山縣

武内 八百楠

明治十三年一月一日生

一、全

一、尋常小學校本科正教員

一、全

一、全

一、全

一、小學校專科農業正教員

全

清水 好

明治二十二年二月二十七日生

和歌山縣

那須九一郎

明治二十九年一月十日生

和歌山縣

前島 富士太郎

明治二十四年十一月十三日生

和歌山縣土族

山際 國枝

明治二十九年四月三日生

和歌山縣

榎本 千代

明治二十七年十二月二十三日生

和歌山縣

鈴木 常一

明治二十九年三月二十三日生

一、小學校專科裁縫正教員

和歌山縣 田和チカエ

明治二十二年三月二日生

一、尋常小學校准教員

和歌山縣 村井婦美子

明治二十九年六月十九日生

〇辭令

〇五月十五日

陸軍歩兵少尉正八位勳六等

清水武

日高郡立實科高等女學校教授ヲ囑託ス

月手當五圓ヲ給ス

〇五月十六日

西濱政七

依願解雇

〇五月十八日

山口強一郎

願ニ依リ職務ヲ免ス

〇五月二十二日

原和一

和歌山縣土木技手ヲ命ス

月俸貳拾五圓ヲ給ス

〇五月二十三日

村上清太郎

和歌山市立和歌山商業學校武藝教師ヲ囑託ス

年手當拾貳圓ヲ給ス

和歌山商業學校武藝教師

和田槌三郎

月手當拾圓ヲ給ス

岡本正一

月手當七圓ヲ給ス

農林學校舍監心得

同 校舎監

内山幾太郎

月手當四圓ヲ給ス

中 清一

各

山本昇次郎

通、各、屬、三宅恒永

位階追陞奉命使トシテ知事故淺野幸長墓前へ参向ニ付隨員ヲ命

ス

各 通 同 警部 西岡庄五郎
警部補 宇田 鶴楠
巡査 中山 隆
松井 楠吉

位階追贈實命使トシテ知事故落野幸長墓前へ参向ニ付警部ナ命

各 通 土木工手 神田 久吉
同 山本 輝助

第三工區出張所勤務ナ命ス 森本 義雄

第四工區出張所勤務ナ命ス 土木工手 橋本 茂十郎

第五工區出張所勤務ナ命ス 土木工手 高田 正武

月俸貳拾八圓ナ給ス 土木技手 中林 一幸

願ニ依リ職務ヲ免ス 土木技手

月俸拾五圓ナ給ス 土木技手

願ニ依リ職務ヲ免ス 土木技手

○五月二十六日

日高郡南部町上南部村岩代村
學校組合立日高第二實業學校
助教諭心得 小川 小三郎

願ニ依リ職務ヲ免ス 大月 つや

縣立新宮高等女學校教諭ニ任ス
九級俸ヲ給ス

縣立農林學校教諭ニ任ス
八級俸ヲ給ス 高原 美忠

縣立新宮高等女學校教諭兼舍監

兵庫縣へ出向ナ命ス 安田 九

土木工手ナ命ス 岩田 虎之

月俸拾圓ナ給ス

第四工區出張所勤務ナ命ス 土木工手ナ命ス 川口 明一

月俸拾圓ナ給ス

第三工區出張所勤務ナ命ス 土木工手ナ命ス 岩田 虎之助
川口 明一

御用濟解雇

○五月二十七日

海草郡書記

依願免本官 大野 米吉

土木技手ナ命ス 大塚 松己

月俸參拾五圓ナ給ス

內務部土木課勤務ナ命ス 大塚 松己

紀ノ川河川調査ヲ囑託ス
月手當參拾五圓ナ給ス

○五月三十日

土木工手ヲ命ス

月俸貳拾四圓ヲ給ス

内務部土木課勤務ヲ命ス

工業 監修技師

内海 清隆

菅原 秀國

物品出納吏ヲ命ス

○五月三十一日

前田 詮資

任海軍圖書記

給月俸拾參圓

小川 義高

縣原ヲ命ス

月俸拾五圓ヲ給ス

第一工區出張所勤務ヲ命ス

○町村吏員ノ異動

○大正五年五月二十四日認可

和歌山市助役

魚津 要太郎

○大正五年五月二十五日認可

伊都郡岡田村長

岡田 市兵衛

伊都郡高野口町有給助役

林 隆吉

○大正五年五月二十五日認可

那賀郡志賀野村

應地 羊羊楠

○大正五年五月二十七日認可

那賀郡特宿村助役

山本 幸三郎

○彙報

○官廳事項

○教員戒

伊都郡高野口尋常高等小學校

准訓導

諏訪 清一郎

漁業取締規則ニ違反シタル行為ハ職務ノ體面ヲ汚辱シタルモノニ付小學校令第四十八條ニ依リ調査ス

大正五年五月三十日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○船隻沈没 東牟婁郡新宮町四百三十番地高津留松所有帆船二

艘明榮丸ハ五月四日新宮川口ニ於テ難破ニ罹リ其ノ際第二二〇

六號船隻沈没シタル旨届出タリ

死亡 海草郡書記岩橋大八ハ五月十三日死亡セリ

叙位 正七位森山竹一ハ五月二十日從六位ニ進階セリ

退職 市立和歌山商業學校教諭魚津要太郎ハ五月二十四日願ニ

依リ本職ヲ免セラレタリ

衛生

○自四月廿一日至四月三十日山田村「トラホーム」患者治療旬報

種別	計	生徒患者	其他患者	合計
別	計	一〇一名	二二四名	一八〇
計	三二五名	七六	二二九	三九〇
別	計	一〇一名	二二四名	一八〇
計	三二五名	七六	二二九	三九〇

○自四月廿一日至四月三十日調町村「トラホーム」患者治療旬報

種別	計	生徒患者	其他患者	合計
別	計	一〇一名	二二四名	一八〇
計	三二五名	七六	二二九	三九〇
別	計	一〇一名	二二四名	一八〇
計	三二五名	七六	二二九	三九〇

○自五月一日至五月十日鳴神村「トラホーム」患者治療旬報

種別	計	生徒患者	其他患者	合計
別	計	一〇一名	二二四名	一八〇
計	三二五名	七六	二二九	三九〇
別	計	一〇一名	二二四名	一八〇
計	三二五名	七六	二二九	三九〇

○自五月一日至五月十日池田村「トラホーム」患者治療旬報

種別	計	生徒患者	其他患者	合計
別	計	一〇一名	二二四名	一八〇
計	三二五名	七六	二二九	三九〇
別	計	一〇一名	二二四名	一八〇
計	三二五名	七六	二二九	三九〇

○自五月一日至五月十日大谷村「トラホーム」患者治療旬報

種別	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	合計
生徒患者	大谷 六九	一	六四	一	六四	一	六四	一	六四	一	三九
柏木	一九	一六	一七	一五	一五	一五	一五	一六	一六	一五	六九
其他患者	大谷 一三〇	一	一九	一七	一七	一五	二〇	二〇	二	一五	八六
計	大谷 三八	二	二	二	一	一	二	一	二	七二	三九五
大谷	九九	一	八三	一九	八一	七九	七	八〇	一八	一	七七
柏木	五七	一八	一九	一五	一五	一	七	一	一	一	七七

○自五月一日至五月十日粉河町「トラホーム」患者治療旬報

種別	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	合計
生徒患者	名 八九	九三	一〇〇	九七	九四	九二	五二	九三	九七	九四	九〇一
其他患者	名 一七四	一八〇	一八四	一九六	一八三	二〇〇	一九四	二一三	二二一	二二二	一九五二
計	名 二六三	二七三	二八四	二九三	二七七	二九二	二四六	三〇六	三一八	三〇六	二、八五三

○自五月一日至五月十日田邊町「トラホーム」患者治療旬報

種別	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	合計
生徒患者	名 一四五	一四一	一六二	一五八	一四二	一五〇	日曜	一三七	一三七	一三七	一、三〇九
其他患者	名 一四五	一六七	一八四	一八一	一四二	一七二	日曜	一六一	一六〇	一五九	一、四六八
計	名 一四五	一四一	一六二	一五八	一四二	一五〇	日曜	一三七	一三七	一三七	一、三〇九

○自五月一日至五月十日黒江町「トラホーム」患者治療旬報

種別	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	合計
生徒患者	名 二九	四五	二八	七八	一五	四八	五六	八	七九	九一	五三四
其他患者	名 一、一四四	八三	九三	八五	一二一	五九	七八	一二	一〇〇	九九	七九五
計	名 一、四〇四	一二八	一二一	一六三	一六六	一七	一三四	二〇	一七九	一九〇	一、三二九

○衛第五九五九號

上海ニ於ケル本週(自五月一日至五月七日)中ノ傳染病狀況ニ關シ當省防疫事務廳託入倉榮暲ヨリ本月九日附テ以テ左ノ通報告アリタリ(大正五年五月十九日內務省衛生局)

區別	虎列刺	廣チ	チラス	赤痢	バスト	痘瘡	猩紅熱	實布	發疹	計
新患者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
死患者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
現在患者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一月以來患者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計死者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

備考

一、本週ニ於テハ猩紅熱増加シ死者支那人十三名ヲ出セリ其ノ他ノ傳染病狀況ハ前週ト大差ナシ「インフルエンザ」流行内盛ナリ
二、本週中ニ於ケル各國兵局居留地内ノ死亡者ハ外國人八名支那人百七十九名計八十七名ニシテ前週ヨリ二十二名多シ而シテ日本人ノ死者ハ三名ナリ

○衛第五九八八號

上海ニ於ケル本週(自五月八日至五月十四日)中ノ傳染病狀況ニ關シ當省防疫事務廳託入倉榮暲ヨリ本月十六日附テ以テ左ノ通報告アリタリ(大正五年五月二十三日內務省衛生局)

區別	虎列刺	廣チ	チラス	赤痢	バスト	痘瘡	猩紅熱	實布	發疹	計
新患者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
死患者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
現在患者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一月以來患者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計死者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

一、本週ニ於テハ猩紅熱ノ發生比較的ニ少ク支那人死者八名外國人患者一名ナリ赤痢ハ漸次發生ノ兆候アルモ一般ノ傳染病狀況ハ良好ナリ
二、本週中ニ於ケル各國兵局居留地内ノ死者ハ外國人六名支那人百五十二名計百五十八名ニシテ前週ヨリ二十一名少シ而シテ日本人ノ死者ハ三名ナリ

今回東洋殖産株式會社ニ於テハ

第二種朝鮮農業移民ヲ募集セラレタル其ノ要項左ノ如シ

一、朝鮮農業の有望

朝鮮の耕地は收穫の割合に値段其だ安く氣候も亦内地と大差なく農業經營は頗る有利なりされど事情に通過せざる内地人が直ちに適當の集開地を買取することは至難なるが故に本會社は是等の人々の爲に特に便宜を圖り且保護指導の途を設く

二、拾町歩の地主

本會社は改正移住規則(大正四年四月認可)によりて田畑を通して拾町歩以内の地主とせらるべき第二種移住民を募集す本年度の募集戸數は八拾戸にして明年移住すべきものなり別に第一種移住民(貳町歩の地主とせらるべきもの)千五百戸を募集す

三、所有權の讓渡

第二種移住民は土地代金の半額を移住の際一時に支拂ひ殘額に年七分五厘の利率を付し三十五年以内は元利金を年賦にて返済し土地の所有權を得るものにして其償還方法は極めて長期且つ低利なり假りに拾町歩の値段四千圓・すれは先づ貳千圓を拂込み二拾五年間に年賦金百七拾九圓四拾貳錢宛を拂 返済の上は自分の所有となるこの外土地に對する地稅公課を負担すれども其額極めて低く別に小作料など一切納むる必要なし

四、割當地は既墾地

割當地は從來朝鮮人の耕作する既墾地にして可成旱害水害の憂少き土地を選定す北海道又は臺灣の如き未墾地の開墾

五、割當地の値段

六、移住すべき場所

第二種移住民は收容すべき場所は農面記載の地方にして大抵鐵道其他交通の便利なく警察市場學校醫師の設備ある場所より遠からざる地方にして多くは現に本社に移住民の來住し又は目下募集中の第七回移住民の收容豫定地の附近なり

七、移住民の覺悟と用意

朝鮮に自ら永住土著するの覺悟を要す一時腰掛的に渡經し雇人仕がせにては到底成功は期し難し又移住の旅費移住後の農事經營及び生活費等凡て自辦すべきものなり從來第一種移住民にては四百圓の用意金を要したれば第二種移住民は夫れ以上の準備金を要すべし

八、移住旅費と割引

移住民には汽車汽船賃及携帶貨物運賃の割引券を交付す大抵割引乃至割引なり又移住の時期には資材は定額より安く特約したる旅費を各地に置き又適宜の場所に移住民取扱事務所又は案内所を設けて渡經上諸般の世話をするべし

九、移住申込注意

- (イ) 申込書に現住地の市區町村役場(朝鮮在住者は府郡廳)に差出せば府縣廳又は道廳を経て本社へ回送せらるゝ順序なれば直接本社に送らぬこと
- (ロ) 申込書には必ず市區町村長(朝鮮在住者は府尹又は郡守)申込書記載事項(第二第三第五乃至第七)に對する證明書及戸籍謄本を添へること
- (ハ) 移住申込書第八項には旅費農具衣食等準備の程度を一々記入し渡航の採用意を參すべし用意金高を明記すること
- (ニ) 成可希望の場所に割當つべきも全一場所を希望するもの多數ありて收容戸數を超過する場合は移住場所は希望の順序に第一第二第三希望地とし成可數を所を記入し置くこと

十、諸種の注意

- (ホ) 移住の認否決定前に於ける移住希望地の變更は差支なきも愈承認し割當地決定の上は最早變更せざること
- (ヘ) 移住の認否は申込書審査の上ならでは決定せざるに依り移住承認の通知を受けざる人は家屋家財など賣拂ひ渡航の用意などすべからず假令輕率に渡航するも本社にては世話することを得ず
- 募集は本社自ら之れを取扱ひ一切仲介者又は周旋人等を設けず移住申込其他の問合せは直接本社へ申越さるゝか若是最寄市町村役場郡役所、府縣廳に照會せらるべし移住規則申込用紙等は申越次第贈呈すべし

第二種移住民募集戸數及收容豫定地距離表

道名	郡名	面名	戸數	學校	醫師	停車場	市場	警察	捕	要
京畿道	高陽	恩平	一	二里半	全	一里半	二里半	所在地		
	全州	神道	一	二里半	全	二里半	四里半	十町		
	廣州	中型	一	二里半	全	二里半	一里半	全上		
	楊州	美金	一	二里半	全	三里半	四里半	所在地		
	開城	光德	一	四里半	全	三里半	三里半	半里		
	利川	新屯	一	一里半	全	三里半	一里半	全上		
	水原	安龍	一	八里半	全	全上	全上	全上		
	全州	城湖	一	八里半	全	全上	全上	全上		
	龍仁	水餘	一	七町	全上	五里半	八町	七町		
	龍仁	水餘	一	七町	全上	五里半	八町	七町		

全羅北道				全羅南道				忠清北道				忠清南道										
全	全	井	全	金	全	益	谷	全	潭	羅	全	光	順	益	全	沃	永	堤	洪	舒	扶	牙
邑	淨	甘	草	堤	竹	益	城	城	陽	州	全	陽	天	光	全	川	同	川	城	川	餘	山
並	淨	甘	草	堤	竹	益	城	城	陽	州	全	陽	天	光	全	川	同	川	城	川	餘	山
岩	土	谷	處	山	山	山	城	城	陽	州	全	陽	天	光	全	川	同	川	城	川	餘	山
一	一	一	二	二	一	二	一	一	一	一	二	一	一	一	二	二	一	一	三	一	二	一
十五	一	一	二	至	自	廿	所	一	一	二	一	一	一	一	一	四	汽	所	所	一	牛	廿
町	里	里	里	二	一	町	在	里	里	里	里	里	里	里	里	里	車	在	在	里	里	町
二	全	全	全	全	全	一	全	全	全	全	全	全	全	全	全	一	全	全	全	全	七	全
里	上	上	上	上	上	半	上	上	上	上	上	上	上	上	上	以	上	上	上	上	里	上
全	二	全	二	全	全	全	十五	七	六	全	全	全	全	二	全	四	自	三	十五	六	全	二
上	里	上	里	里	上	上	里	里	里	上	上	上	上	半	里	至	五	十二	里	里	上	里
十五	一	全	一	十	廿	一	所	一	半	全	全	全	全	半	一	全	全	所	一	牛	所	二
町	里	上	里	町	町	里	在	里	里	上	上	上	上	里	以	上	上	在	里	里	在	町
全	全	全	全	全	全	全	一	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	半	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

鳥致院ヨリ忠州迄廿一里、忠州ヨリ堤川迄十一里、鳥致院忠州間自動車ノ便アリ

[illegible]

